

老いやトランプ氏 テーマ多彩

三木市口吉川町殿畑、元小学校長山崎啓治さん(72)が3作目の詩集「もっぺん」を自費出版した。日常生活の出来事をリズム感のある文体で切り取った57作を収録。「生活の中で見つけた非日常を書いた『生活詩』。共感してくれる人がいればありがたい」と話している。

(大島光貴)

元校長・口吉川の山崎さん

3作目の詩集出版

市内などの小中学校で 38年間、教壇に立ち、退職後に大阪文学学校(大阪市)で詩などを学んだ。詩集は2012年に「神様の憂うつ」を、13年には「粹なべべ」を出版。周囲の「3冊目はないの？」との声に応え「もっぺん(もう一度)出版を決めた」という。

作り笑いをする「ひと」への不信感を描いたり、じゃんけんでけんかを仲裁した子どももの目線から、会議で考えがまとまらない大人への皮肉を込めたりした作品もある。A5判、143ページ。1296円。200部発行。インターネット通販サイト「アマゾン」で近く販売する予定。注文も受け付ける。山崎さん ☎0794・888・0166

「生活詩」57作を収録

古希を過ぎ、老いに対する思いが作品ににじむ。収録作「この二つ」では、昨年11月9日に米大統領選に勝利した70歳のトランプ氏と、同じ日に入れ歯を初めて入れた自身を比較。別の詩では「新聞開く第一は／近いヤツはいないかと／お



3作目の詩集「もっぺん」を出版した山崎啓治さん＝三木市口吉川町殿畑